みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.39

平成27年8月5日号
発行・岩手県西和賀町議会

6月定例会（6月24日～26日）

主な内容

・沢内甚句全国大会開催場所の行方…２Ｐ
・水道無届け使用調査特別委員会の設置…７Ｐ
・国道107号の対応を要望……15Ｐ

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.25

さわうち太鼓百年座

目標に向かって、一心に叩く

午後７時から太田農業者トレーニングセンターで他の座員と一緒に練習しています。
（写真は７月22日の練習の様子）

平成27年度一般会計補正予算

沢内甚句全国大会会場が沢内バーデンから銀河ホールに変わった経緯を問う

沢内バーデンから

銀河ホールに

６月定例会は６月24日から26日まで開催し、27年度補正予算をはじめ26案件を審議し、原案のとおり可決しました。

平成27年度一般会計補正予算の審議で、特に質問が集中した沢内甚句全国大会の開催にかかる質疑の状況を要約してお知らせします。なお、行政報告や一般質問などは５ページから13ページをご覧ください。

審議の様子

佐々木議員　今まで沢内バーデンで開催していた沢内甚句全国大会を銀河ホールで開催することにした経緯を伺う。

副町長　過日（6月5日）開催した「沢内甚句全国大会実行委員会」において、全国に誇る郷土の民謡である「沢内甚句」を西和賀町合併10年目の節目に沢内村湯田町双方の財産として町民の方々に盛り上げていただくとともに、多くの方々に西和賀町においでいただき、ファンになっていただくことをねらいとして、今年度は、テレビで30分特別番組の放送を新たに実施したいと説明し、会場については、銀河ホールで開催させてほしいと提案し了承いただき、6月補正予算に計上したもの。

佐々木議員　特に沢内地域の住民からどういうことなのかという話が聞こえてきた。いろんなわだかまりは無くすようにしなければならない。しかし、丁寧な説明が無かったのではないか。

副町長　実行委員会において、今年度の事業計画に関して実行委員から意見を伺ったが、その際に出された意見を紹介すると、沢内甚句発祥の地で開催されることに意義がある。沢内バーデンでは、自由に飲食しながら寝転んだりの和やかな雰囲気の中で開催できるとの意見。一方で歌い手からすると、銀河ホールは舞台装置が整っており、音響のレベルも高いという意見。宿泊用のお得なパックなどで多くのお客様を呼び込むようなイベントにしては。という意見。場所がどこであれ、若い人達に沢内甚句をどのように継承していくかではないか等の意見が出された。

なお、今回の30分の特別番組の放送にあたっては、沢内甚句の由来、今まで取り組んできた方々の思いなどを番組に織り込む内容で当日の大会の様子を放送し、これまでの取り組みに敬意を表した番組にしたいと考えている。

次回の実行委員会で具体的な内容を提案し、多くの町民で盛り上げたイベントにしたいと考えている。

髙橋和子議員　外部の人から理解してもらい西和賀を愛してもらうのはそのとおりだ。しかし、私が実行委員から聞いた話では、実行委員会とはいうものの、会議進行が決まっていて異論を挟めない状況だったとのこと。10周年であっても、こういう素朴な所でつなげてやってきた思いの

強さがあるゆえ、そういう配慮をしながら話し合ってほしいと思うが。

副町長　会議を開催するにあたって、会場地の変更を含めた事業の概要を事前に説明し、意見を伺って進めてきたつもりであったが、説明不足があったとすれば、一層の配慮に留意しながら対応してまいりたい。

児玉議員　全国的に見て、合併しても、なかなか解消されない問題は残っていると過日の答弁で聞いた。その象徴が沢内甚句大会ではないか。私たちの年代は、しこりが取れにくい。これから先、どのようにそのしこりをほぐし、地域間の色々なものを解消して一つの自治体にしていくのか伺う。

町長　今まで取り組んできた歴史や経緯をテレビ放映で種々紹介し、そして今に至ったということ、そして今専用ホールで発表ができたという一体感、がしこりをほぐすきっかけなりうると私は期待をしている。

柿澤議員　50年ほど続くおよね祭りは、例年、歌や踊りを奉納し、80の檀家が参加している。そういう人たちに丁寧な説明をしないことには賛成できかねる。

副町長　過日の実行委員会において、事業計画及び収支予算について了承をいただいているが、次回、6月29日開催の実行委員会で、この場での意見を伝えて協議してまいりたい。

髙橋和子議員　次の実行委員会で開催場所を含めて再度丁寧に話し合い、結論を出せばいいのではないか。

町長　いろいろな意見をいただいたので、それはしっかり伝える。ただ、実行委員会という大きな責任を担って協議している議決機関があり、それを根本から壊すことは失礼であることを当然踏まえなければならない。

※沢内甚句全国大会実行委員会の構成
- 西和賀町長
- 西和賀町観光協会会長
- 西和賀民謡同好会会長
- ㈱ＩＢＣ岩手放送中部支社長
- 沢内バーデン支配人
- 沢内民謡保存会会長
- 西和賀町教育委員会教育長

沢内バーデンでの平成26年度大会のようす

銀河ホール客席。ここを会場にすると実行委員会では考えています。

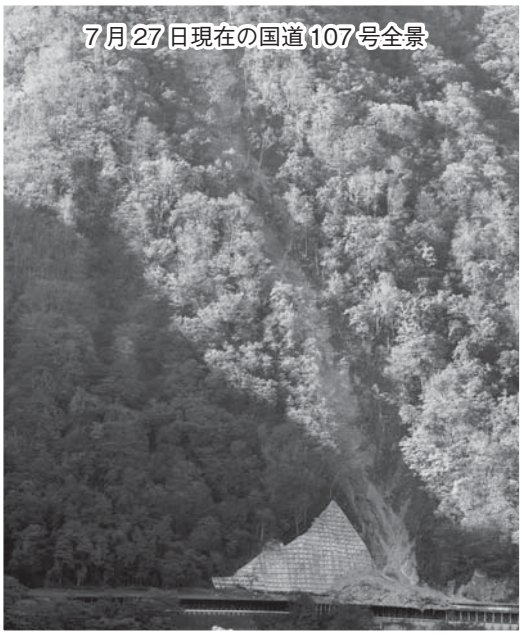
賛成討論

刈田敏議員　私は、この補正に対して賛成の立場で討論する。沢内甚句全国大会の話題が議論となり、多くの問題が浮き彫りとなったが、沢内甚句全国大会がさらに発展継承できるよう関係者の今後の進め方を見守りたい。この大会が、西和賀町の宝となれるよう努力してほしい。

少子高齢化が心配される中、本補正予算により、人口減少を少しでも回避できるよう誠意をもって事業を進めていただきたい。

町長行政報告

国道107号通行止めの対策 ほか



●公用車事故の示談成立

4月25日に湯田庁舎駐車場内で発生した公用車と軽自動車の接触による損害賠償で、相手方からの損害賠償請求額の確定通知受け話し合いが整い、議会の委任よる専決処分を行いました。

事故は、荷下ろしをするため後退した公用車が、駐車中の軽自動車に接触し破損させたものです。事故に伴う損害賠償金額は11万8626円で全額を保険金で支払うものです。

事故原因が不注意、確認不足であることから打ち合わせの機会に一層注意を促し、その後の事故防止に努めていきます。

●国道107号通行止めに伴う岩手県交通北上線の運行再開

岩手県交通バス路線北上線の運行を再開します。天ケ瀬橋入り口と道の駅錦秋湖間の通行止めにより、現在、バス路線北上線は、湯本バスターミナルからほっとゆだ駅の間と北上市内は仙人から中部病院の間でそれぞれ折り返し運行しています。

普段利用している皆様から一日も早い運行再開を要望されていましたが、迂回路である高速道を走行できる車両が手配できず、今まで延び延びになっていました。

この度、準備が整い、6月29日から平日1便限り運行を再開することとしました。運行時刻などは6月25日発行の広報にしわが6月号に掲載しています。

ぜひ、多くの皆様が利用されるようお願いいたします。

●国道107号の経過と方向

発生から3か月あまり経過した国道107号土砂崩落は、6月15日に岩手県から、地質調査や現地調査が終わり、復旧に向けた具体的な計画が説明されました。

これまでの被災状況の調査結果から、崩落斜面には不安定な土塊や1mを超える岩などが複数確認され、被災したスノーシェッドは36mにおよび屋根部がかなり変形している状況です。

被災現場が急斜面であり、県内有数の豪雪地帯で施工期間が限られることなど復旧工事は難しい工事となることから、当面の措置として9月末をめどに崩落土砂を取り除き、法面に植生マットを張り付け、仮設に鉄骨製の防護施設を設置し、11月末までに片側通行ができるようにしたとい説明がありました。片側交互通行ですが、107号通行止め解除に向けた見通しが示されたことに期待するとともに、引き続き本復旧に向け関係機関へ働きかけを行います。

第2回6月定例会会期日程

（6月24日～6月26日まで）

月　日	内　　容	関連ページ
24日（水）	・諸報告	4ページ
	・一般質問 淀川豊議員 髙橋輝彦議員 刈田敏議員 佐々木孝道議員	8～13ページ
25日（木）	・一般質問 髙橋和子議員	8～13ページ
	・議案審議 報告3件 条例3件 補正予算5件 そのほか3件	2～3ページ 6～7ページ
26日（金）	・議案審議 そのほか4件 請願・陳情3件 発議4件 議員派遣1件	6～7ページ

①議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。
②24日、25日に常任委員会を行いました。

行政報告とは、町長や教育委員長などが町の大きな話題を議会に報告することです。
報告なので、議員は行政報告に対し質問することはできません。

私たちのくだした判断　第２回６月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	関連ページ	淀川豊	高橋雅一	柳沢安雄	高橋和子	高橋輝彦	佐々木孝道	高橋到	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	柿澤繁俊	深澤重勝
報告	1号	26年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書	6～7ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	26年度下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	3号	26年度一般会計予算継続費繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	1号	議会の議決すべき事件を定める条例		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	3号	行政手続条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	4号	27年度一般会計補正予算	2～3ページ 6～7ページ	○	○	○	○	○	●	○	○	○	早	●	-
	5号	27年度介護保険特別会計補正予算	6～7ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	6号	27年度簡易水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	7号	27年度温泉事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	8号	27年度町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	9号	除雪ドーザの取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	10号	除雪ドーザの取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	11号	ロータリ除雪車の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	-
	12号	町道下前小繋沢線道路改良工事（その３）請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	13号	町道内の沢線内の沢橋橋梁補修工事の請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	14号	新田郷水系配水管布設工事の（５工区）請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	15号	細内水源・新田郷浄水場建設工事（土木）の請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		議員派遣の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願・陳情	1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続に向けた国への働きかけを求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	3号	農協改革をはじめとした「農業改革」に関する陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議	1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充の意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続に向けた国への働きかけを求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	3号	農協改革をはじめとした「農業改革」に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	4号	簡易水道無届け使用調査特別委員会設置に関する決議		○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	-

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、佐々木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

紙上クイズ　スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．西和賀町は、今年で合併○周年を迎えます。（数字２ケタ）
2．平成26年度から27年度に繰り越した一般会計の事業は○事業です。（数字１ケタ）
3．○○地区町議会議長会は、西和賀町議会、金ヶ崎町議会、平泉町議会、住田町議会で構成されています。（漢字２文字）

前回号の答え　1．2　2．18　3．運営

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応募先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】8月19日消印有効とします。

【発表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【No.38の当選者の発表】
小林栄子様（湯本）　おめでとうございます。

6月定例会

審議の中身 このように決まりました

平成27年度予算の補正 除雪車の更新 ほか

27年度補正予算

可決 ▼ 賛成8・反対2

下記表1のとおり、平成27年度予算を補正し、すべて原案のとおり可決しました。（関連ページ2～5ページ）

予算繰越の報告

一般会計と下水道事業特別会計で26年度の年度内に完了することができなかった事業を27年度に繰り越すとの報告がありました。額や内容は表2をご覧ください。

繰越明許費とは

町の予算は「会計年度独立の原則」により、その年度の支出は、その年度の収入をあてることになっています。

特別な事情で年度内に事業が完成できない場合は、翌年度に繰り越すことが認められています。

条例の一部改正

●西和賀町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正

可決 ▼ 賛成10・反対1

議会において議決すべき事件に、基本構想及び基本計画の策定と定住自立圏形成協定を加えました。

●西和賀町介護保険条例の一部改正

可決 ▼ 全員賛成

平成27年度から29年度まで、第1号被保険者で低所得者の保険料を3万6300円から3万3000円に軽減するものです。

●西和賀町行政手続条例の一部改正

可決 ▼ 全員賛成

行政手続法が改正され、行政指導の根拠を示すことや行政指導の中止などを定めたものです。

財産の取得

●除雪ドーザの更新

可決 ▼ 全員賛成

除雪ドーザの老朽化に伴い、18t級除雪ドーザを更新します。契約の相手先は㈱KCMJ盛岡営業所で、契約金額は税込みで2268万円です。納期は平成27年11月27日です。

●除雪ドーザの更新

可決 ▼ 全員賛成

除雪ドーザの老朽化に

【表1】 本定例会での平成27年度予算補正

項目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	63億3017万円	2億864万円	65億3881万円	合併10周年記念事業594万円、地域情報通信基盤施設管理2957万円、地熱開発理解促進関連事業2052万円　臨時福祉給付金支給事業　1091万円ほか
介護保険会計	10億9756万円	17万円	10億9773万円	介護保険負担割合証作成処理委託料14万円ほか
簡易水道会計	22億136万円	1359万円	22億1495万円	簡易水道施設統合整備事業1278万円ほか
温泉会計	9176万円	151万円	9327万円	温泉施設管理費（ほっとゆだ源泉ポンプ修繕等）151万円
沢内病院会計（収益収支）	9億6283万円	87万円	9億6370万円	臨時検査技師52万円、自動ドア等保守点検委託22万円、ほか
沢内病院会計（資本収支）	3461万円	271万円	3732万円	中庭緑化工事

※表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

【表2】 平成26年度から27年度に繰り越した額（継続費を含む）

項目	繰り越した事業数	繰越額	繰り越した主な事業
一般会計	8事業	1億2730万円	まち・ひと・しごと創生総合対策事業、おもてなし環境整備事業、火葬場建設事業（継続費）ほか
下水道会計	1事業	720万円	浄化槽市町村整備推進事業

※沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

○討論とは、各議員が議案に対して賛成、反対の意見を表明することです。

伴い、町では14ｔ級除雪ドーザを更新します。契約の相手先はコマツ岩手㈱で、契約金額は税込み1555万2000円です。納期は平成27年11月27日です。

●ロータリー除雪車の更新

可決 ▼全員賛成

ロータリー除雪車の老朽化に伴い、町では220kW級ロータリー除雪車を更新します。契約の相手先は㈱KCMJ盛岡営業所で、契約金額は税込みで3488万4000円です。納期は平成27年11月27日です。

この型の除雪車に更新します。

工事の請負契約の締結

●町道下前小繋沢線道路改良工事（その3）を契約

可決 ▼全員賛成

町道下前小繋沢線道路改良工事（その3）を契約しました。契約の相手方は㈲菅政組（西和賀町）で、契約金額は税込みで5432万4000円です。工期は平成27年12月17日までです。

●町道内の沢線内の沢橋橋梁補修工事を契約

可決 ▼全員賛成

町道内の沢線内の沢橋橋梁補修工事を契約しました。契約の相手方は㈱田中建設（西和賀町）で、契約金額は税込みで563万8000円です。工期は平成27年12月18日までです。

●新田郷水系配水管布設工事（5工区）を契約

可決 ▼全員賛成

新田郷水系配水管布設工事（5工区）を契約しました。契約の相手方は㈱近藤設備（西和賀町）で、契約金額は税込みで616万円です。

●細内水源・新田郷浄水場建設工事を契約

可決 ▼全員賛成

細内水源・新田郷浄水場建設工事を契約しました。契約の相手方は北海土木工業・高幸建設（西和賀町）特定共同企業体で、契約金額は税込みで3億8340万円です。

みなさんの願い

●請願はありませんでした。

●陳情

・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持及び拡充、教育予算拡充を求める陳情

採択 ▼全員賛成

【内容】

豊かな教育環境を整備するため30人以下学級にすることや等しく教育を受けることできるよう義務教育予算の拡充を求める陳情です。

【提出者】岩手県教職員組合和賀支部　支部長　及川　巧さん

・「被災児童生徒就学支援等事業交付金」継続に向けた国への働きかけを求める陳情

採択 ▼全員賛成

【内容】

東日本大震災で経済的に困窮している家庭の子供たちの就学や修学を保障するため、引き続き2016年度以降も交付金を継続するよう要望する陳情です。

【提出者】岩手県教職員組合和賀支部　支部長　及川　巧さん

・農協改革をはじめとした「農業改革」に関する陳情

採択 ▼全員賛成

【内容】

安全な食料を安定的に生産する日本の農業を守り、地域農業や地域の暮らしを支える農協の株式会社化や農協法改定の中止などを求める陳情です。

【提出者】岩手県農業協同組合労働組合　中央執行委員長　齋藤禎弘さん

議員発議

●請願・陳情で採択された案件は、内閣総理大臣や関係省庁に、西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

●西和賀町簡易水道無届け使用調査特別委員会の設置

可決 ▼賛成6・反対5

・先の3月定例会と5月臨時会で質疑が行われた簡易水道無届け使用の問題で、本定例会で特別委員会設置の発議が議員からされ、議長を除く議員6人を構成員とした特別委員会を設置しました。（関連ページ　15ページ）

▼反対討論

髙橋到議員

反対理由として、一つ目は、この問題はすでに解決済みであり、納得がいかないのであれば、町当局に説明を求めれば良いことで、何も特別委員会を設置する必要はない。二つ目は、特定の一個人、特定の一企業を念頭に置いた特別委員会設置はあってはいけないことだ。もし、このようなことが通るのであれば、第2第3のターゲットがまた出てくる。いたずらに議会を利用したり、混乱に貶めるようなことは行うべきでない。

議員派遣

可決 ▼全員賛成

平成27年7月21日から23日まで、行政視察研修として岡山県西粟倉村と和気町に議員全員を派遣することにしました。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

6月定例会では5人が一般質問しました

一般質問を終えて
思いは
共有されたか？

淀川　豊 議員
- 合併10周年を迎えて

一般質問を終えて
お互いに
「ほのぼのとした心」を
持ちたいものだ

髙橋　輝彦 議員
- 公共施設における
  バリアフリーの状況

一般質問を終えて
公民館は、
地域づくりの
拠点と思うのだが

刈田　敏 議員
- 山岳と和賀川の観光活用
- 公民館のあり方

一般質問を終えて
西和賀の
水と米を使って
日本酒を作っては？

佐々木孝道 議員
- 農業の活性化と展望
- 町立図書館の設立
- 町の理念とは

一般質問を終えて
あれもこれもと
時間が足りず、
言葉も足らず
今後の課題

髙橋　和子 議員
- 国道107号の復旧
- 子育て日本一の町を目指して
- 国保税の引き下げ

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

質問

10年間の地域の一体感を問う

淀川　豊　議員

町長

地域の課題に共に向き合う意識が必要だ

独自に活動しているアニバーサリー実行委員会の活動。
住民も参画した取り組みが必要です。

合併10周年記念事業

質問　**合併10周年記念事業の詳細と今後の予定を伺う。**

町長　11月1日に合併記念日の公式行事としての式典を予定している。内容は町勢功労等の表彰や小中学生から町に対する考えなどの作文コンクール、講演会等も予定している。

質問　**合併10周年記念事業の検討に、住民の参画を検討しているか。**

町長　いろいろな皆さんと参画と協働という形をとって進めていきたいが、行政に関する自治体の合併が主体となる部分は、行政としての責任感において進めていかなければならない。

質問　**事業の検討段階から協働のまちづくりという理念のもと、町民を巻き込み、検討をしながら共に実施するということがこれから目指す10年間の一番の土台となるところではないか。**

町長　まちづくりに関しては三者協働で、みんなそれぞれの立場で意見を言いながらつくり上げていくことを、条例的にもつくってあり、それで進めている。いろんなきっかけを活用し、そこに協働の仕組みを作り動いてもらうことによって、それを活用する力が湧いてくると思うので、こういうチャンスは大いに活用し、適用していくべきと考えている。また、そのように一人一人の住民の皆さんにも、そして行政、議会ともお互いの力を出し合いながら、町のために合意形成をして進めていくべきと思っている。

質問　**これからの10年間のスタートとなる合併10周年という節目は、地域創生元年といった意味合いがあるのではないか。**

町長　まさにそのとおりだ。総合計画の産業、環境、健康は不動の柱であるが、取り組みは、時代の流れとともに変わっていく。今後運営していく人は10年、20年、大いに変わっていくわけであり、変わっていかなければならないと私は思っている。

質問　**これまでの10年間の検証・総括をして、次の10年間に臨むべきでは。**

町長　色々な今までの総括の上に、今後限定されてくる事業を、どこに光を当てていくかという議論は非常に重要なことであり、それは欠かせない視点だと思っている。

質問

公共施設のバリアフリー化は、いつ行うのか

髙橋　輝彦　議員

教育長

改善に必要な経費を検討しながら進める

投票所の機能も兼ねる町内の保育所。
段差や階段の解消は、たくさんの人が利用する所に必要です。

公共施設のバリアフリー化

質問　先ごろ、高齢で足の不自由な住民との会話で「町の公共施設は障害者や高齢者にやさしくない、階段の段差もあれば、手すりも無い。」という話になった。そこで、町の施設を調べたところ老人福祉施設5か所、選挙投票所17か所、各地域の第一避難所44か所であった。その中でバリアフリー化が必要な箇所は何箇所あるか。

町長　住みやすい町づくりをイメージした意見として受けとめる。

総務課長　公共施設の中でも、その目的が高齢者福祉という箇所はバリアフリー化されているものと認識している。質問にあった選挙投票所や避難所は学校、体育館や各地区の公民館を活用している。このうち、段差の解消、スロープ設置済施設は、公民館で51箇所中4施設、体育施設では12施設中5施設。小中学校等その他は未設置という状況だ。

　基本的にバリアフリー化は進めていかなければならないが、経費的な面等から改善が進んでいない状況だ。

質問　早急に措置が必要と考えられる箇所は、どのような施設で何箇所あるか。

総務課長　公共施設の中でニーズが高まる施設ということで考えると公民館が考えられる。公民館は、選挙あるいは避難所としての役割もあり、住民が日常的に利用する最も身近な施設だ。こういった施設に関しては、今後さらにバリアフリー化が求められるものと考える。

質問　私が周って見たところ保育所の利用頻度が高いと感じた。手すり、スロープを工事して固定したほうが良い施設と、保育園のように簡易で容易に設置ができ、持ち運ぶことができ、かつ丈夫なものが必要な施設もある。後者のものであれば、利便性も高く経済的であり時間的にも早急な対応が期待できる。早急に必要なものと、そうでないものの設置時期を伺う。

総務課長　早急という部分では、財源的な問題がかなり大きく、すぐには難しい。しかし各施設に合った設置のしかたは必ずあると思う。公民館については老朽化に伴い、外壁や屋根の補修要望があるので、それと絡めながら優先順位や経費を検討し、地区要望も含め進めていくことになる。

質問

公民館を今のままで維持できるのか

刈田　敏　議員

町内の観光施設や飲食施設等で配布されている西和賀町登山ガイドマップ。
西和賀の自然観光を支えるアイテムのひとつです。

山岳観光

質問　登山ガイドの会の事業や西和賀登山ガイドマップの発行は、登山者が来る上で間に合っているか。

副町長　26年までの3年間で登山者は増えており、女神山は昨年370人から514人、南本内岳は72人から240人となった。登山者が多くなった場所では合わせてガイドマップの増刷をしている。

質問　道路整備等は登山者が増えている所に集中してはどうか。

副町長　今年度、西和賀の山岳観光と町内の宿泊を含めた旅行商品を7月から10月まで5回、15人の定員で募集している。その状況も踏まえ対応したい。また、登山者が多い地域を優先に登山道の整備をするなど、そういった部分は対応したい。

和賀川の観光活用

質問　和賀川の活用の考えを伺う。

町長　入漁券の販売状況は過去3年間横ばいの状況にある。今後、釣り客と宿泊施設等の利用状況を把握し、観光資源の一つとして主力に位置づけ取り組んでいきたい。

質問　淡水漁業協同組合に対する予算が少ないと感じるが。

町長　地域資源を最大に活用するスタンスから、可能性を広げていくための投資は必要と考えるので淡水漁協と協議していきたい。

公民館のあり方

質問　今のままで多くの地区館、分館を維持できるか伺う。

教育長　老朽化した施設が多くあり、優先度を勘案し修繕をしている。この人口規模の自治体で40を超える公民館を持っているところはあまりない。今後、公民館としてやっていけるのか検討していく必要はあると思う。

質問　コミュニティーセンター化をどのように捉えているか。

教育長　近年、全国各地や県内でも公民館をコミュニティーセンターに転換する事例が多く見られる。その多くは、管理を自治組織等などに指定管理者として委託し運営されている。地域の問題を地域に住む人々が自らの知恵と力で解決していくというまちづくり活動の拠点施設と位置づけられ、公民館をコミュニティーセンターとしただけでその機能を十分に発揮することは非常に困難だ。

教育長　検討していく必要はある

質問

公立図書館は人材育成の為にも必要では

教育長 今後のまちづくりで重要課題として認識している

佐々木孝道 議員

西和賀町文化創造館Uホール内の図書室。
順次、他の公民館図書室のサービス向上に取り組むことを期待します。

今後の農業活性化

質問 水稲農家を含め農業を取り巻く環境は大変厳しく、今後の生活が一体どうなるのか不安である。今後の見通し、どんな対策を講じるか所見を伺う。

農業振興課長 米の消費量自体が年間8万トン減少しており、米の価格が大幅に上がることはなかなか難しい。今、全農で飼料米に転換という対策をとっている。東北では、青森、岩手、宮城は達成しているが、秋田と山形は難しい。良い米ができるところほど米をいっぱい作っている状況ゆえ、全体で考えると米価が上がるということは難しい。

質問 西和賀の水と米を使って日本酒をつくる。そして農家の収益を増やす、そういう考え方はどうか。

農業振興課長 西和賀で栽培可能な酒米もあるので、酒という発想は非常によいと思うが、実際に誰がやるかといった部分で、例えば酒蔵を新たにつくるとすれば大変なので、どこかに委託してつくってもらうなど、そういうことが考えられるのでそういったことも含めて検討していただければと思う。

町立図書館の設立

質問 県内の市町村で公立図書館の無い自治体はどのくらいあるのか。

教育長 岩手県内では西和賀町を含め4町3村で公立図書館が未設置になっている。西和賀町も含め、図書館を設置していない町村は、公民館や教育委員会が直接管理をする図書室を設置し、住民サービスが図られている。

質問 人材育成にしても、この地方の古文書や歴史、地域学を研さんし把握をして、先人の苦労を学んで、現代をより進化させるためにも公立図書館は必要不可欠ではないか。

教育長 公立図書館を設置し、より質の高い知の拠点として、町民の要求に応えていくことは、今後のまちづくりで重要な課題と認識している。しかし、図書館を建設し、運営していくためには、町の財政状況を踏まえると、今の段階で、困難な状況だ。

今後は、現在ある公民館図書室のサービスをさらに向上させ、郷土資料の収集整理、新たな図書購入、移動図書館車の効率的な運行などに県立図書館等の指導支援をもらいながら取り組む。

質問

国道107号は生命線。復旧の進捗状況を住民に届けて

髙橋　和子　議員

町長

11月末の片側交互通行を目指し、バスは1往復実現

町内の保育所のようす。
さらなる子育て世代の支援と少子化対策を求めます。

国道107号の復旧

質問　国道107号は町民にとって生命線である。経済や医療への影響とトンネル化の見通しは。

町長　シートベルト装備のバスを岩手県交通が確保し、中部病院までの1往復を6月29日から開始する。根本的な対策としてトンネル化を県知事要望の第一に載せる。道の駅は年間8千万円の売り上げであり大きな損失であり町としても課題だ。

子育て3つのゼロを

質問　子育て日本一の町という言葉は、昭和30年代に両町村の乳児死亡ゼロを支えた故石川敬治郎医師（みどり学園元園長）の言葉である。若い世代を町に呼び込むためにも次の3つのゼロの検討をお願いしたい。①子どもの医療費窓口負担のゼロ②保育料のゼロ③学童クラブの1～3年生の保育料ゼロを実現し、子育て世代の支援と、少子化対策にしてはどうか。

町長　石川敬治郎先生の見識と残された実績は今の行政にも大きく影響しているし、大きな金字塔であったと思う。誇りに思い共感している。子育ての事業は、3人目の保育料無料や軽減。学童クラブの整備、5保育所の維持、病児保育事業の実施、子どものインフルエンザ予防接種助成、不妊治療費助成等、人口減少の中での子育て環境整備に努めた。また、27年度から子どもの医療費対象を18歳まで拡充し無料化に踏み切った。ゼロにすれば支援にはなるが限られた財源であり、見極めながら進めたい。

質問　どれ位の予算がかかるのかお示しをいただけるか尋ねる。

町長　担当課を通し協議し今後の政策に生かし、情報提供に努めていきたい。

国保税の引き下げを

質問　国保税が高くて困るという声が上がっている。国保会計も黒字なので、1億9000万円の基金を使い下げるべきと思うが。

医療保険室長　基金は最低でも5%以上（3000万円～4000万円）積むよう通知があり、国保の制度改正もあるので見直すことになる。

【そのほかの質問】

- 高齢者の冬期間の生活支援ハウスの整備

議会行動

平成27年3月定例会以降の議会公式行動

3月20日 湯田小学校卒業証書授与式「町内」 議員4人
沢内小学校卒業証書授与式「町内」 議員8人
22日 第32回定例会総括会議「議員会議室」 議員10人、事務局
23日 沢内ふるさと会総会「東京都」 副議長
24日 病診連携推進会議「町内」 議長
26日 新町保育所卒園式「町内」 議長ほか
教職員辞令交付式「町内」 議長
28日 町議会町政調査会及び議員互助会総会「町内」 議員11人、事務局
31日 教職員辞令交付式「町内」 議長
4月1日 教育委員会及び体育協会表彰式「町内」 議長
6日 西和賀町職員辞令交付式「町内」 議長
7日 教職員着任式「町内」 議長
8日 湯田中学校入学式「町内」 議長ほか
10日 沢内中学校入学式「町内」 議員7人
16日 湯田小学校入学式「町内」 議長ほか
17日 沢内小学校入学式「町内」 議長ほか
20日 西和賀町消防演習及び祝賀会「町内」 議員7人
22日 西和賀高等学校入学式「町内」 議長ほか
30日 消防関係者歓送迎会「町内」 議員7人
5月1日 転入教職員等歓迎会「町内」 議長
2日 広報編集常任委員会「議員会議室」 議長
8日 葛巻町議会視察研修対応「町内」 広報常任委員、事務局
10日 西和賀農業振興センター総会「町内」 局長
11日 北上・和賀地区戦没者追悼式「北上市」 議長
14日 第1回西和賀町議会臨時会「議場」 議長
15日 沢内遺族会総会「町内」 議員全員、事務局
17日 交通安全協会沢内支会通常総会「町内」 議長ほか
19日 納税貯蓄組合連合会定時総会「町内」 議長
20日 西和賀商工会通常総会「町内」 議長
町政調査会幹事会及び総会「町内」 町政調査会員、事務局
26日 岩手県町村議長会政務調査会研修会「石川県」～22日 議長、局長
町村議会正副議長研修会「東京都」～27日 正副議長
28日 和賀川の清流を守る会総会「北上市」 議長
北上地方交通安全協会通常総会・創立60周年記念行事「北上市」 議長
29日 町議会全員協議会「議員会議室」 議員、事務局
6月2日 西和賀高等学校教育振興会総会「町内」 議長、総教常任委員長
31日 錦秋湖マラソン大会「町内」 議長ほか
北上プライウッド 結の合板工場竣工披露「北上市」 議長
5日 国道107号土砂崩れ被害に関する要望書提出「奥州市」 議長、局長
岩手県町村議会議長会臨時総会「盛岡市」 議長、局長
7日 岩手駐屯地創立58周年記念行事「滝沢市」 議長
8日 希望郷いわて大会実行委員会総会「盛岡市」 議長
10日 議会運営委員会「議員会議室」 議長、議運委員、事務局
北方領土返還要求運動岩手県民会議総会「盛岡市」 議長
11日 森林エネルギー利用促進協議会総会「町内」 議長
13日 湯田ふるさと会総会「東京都」 議長
交通安全協会湯田支会通常総会「町内」 総教常任委員長
14日 深澤晟雄の会総会「町内」 副議長
15日 岩手地域課題研究交流集会「盛岡市」 議長
花巻市議会正副議長来庁対応「議長室」 正副議長
19日 西和賀高等学校魅力化推進委員会総会「町内」 議長
第2回定例会資料説明会「議員会議室」 議員全員、事務局
21日 きらめく女性体育祭「町内」 議長

議会内部の会議は省略しています。
また、行事名も一部省略しています。

このように使いました
議長交際費をお知らせします

（平成27年3月5日～6月23日までの内訳）

お祝い	5件	1万5100円
会費	15件	6万7500円
お悔み（花輪なども含みます）	1件	5千円

御意見と御感想をお待ちしています

6月24日の議会のようす

西和賀町議会だよりでは、「読みやすく、わかりやすい議会広報」を目指して編集に取り組んでいますが、皆さんからのご意見やご感想に耳を傾けながら、よりよい議会広報づくりに心がけていきます。

電話は85-3416・FAXは81-2008です。

【お詫びと訂正】

●平成27年４月22日発行 西和賀町議会だよりNo.38の掲載記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

〈内容〉

●３ページ、湯澤議員の質問中、「対向できるのか」は、正しくは**「対抗できるのか」**です。

●７ページ、施設管理者の指定で「北上ビルメンテナンス株式会社」は、正しくは**「北上ビルメン株式会社」**です。

●７ページ、みなさんの願い中、立憲主義を否定する「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定」を撤回し、憲法を守り、生かすことを求める陳情で「可決・全員賛成」は、正しくは**「可決・賛成10・反対１」**です。

西和賀町議会
土砂崩落への対応を要望しました

堀江県南広域振興局長に要望書を提出する深澤議会議長

西和賀町議会は、６月５日に土砂崩落で通行止めとなった国道107号の復旧と復旧までの通行の対策を講じるよう堀江淳県南広域振興局長へ要望書を提出しました。

要望書の内容は、国道107号の全面通行止め解除に向けた復旧工事の早期着手や迂回路として利用されている秋田自動車道への乗り入れを、天ヶ瀬区住民らをはじめとした利用者が錦秋湖サービスエリア付近にある導入路から行えるよう対策を求めています。

要望を受けて、堀江県南広域振興局長は、「３月の被災以降、連絡調整会議を設置し、二つの部会で検討を重ねている。冬場のことも考え、６月定例会には具体的な説明をできるようにする。」と回答しました。

（※関連　４ページの町長行政報告）

西和賀町簡易水道無届け使用調査特別委員会
第１回特別委員会を開催

就任のあいさつをする髙橋議員と佐々木議員

６月26日まで行われた定例会終了後、第１回西和賀町簡易水道無届け使用調査特別委員会を沢内庁舎本会議場で行いました。

特別委員会は、淀川豊議員、髙橋和子議員、髙橋輝彦議員、佐々木孝道議員、児玉正彦議員、刈田敏議員の６人で構成され、互選で委員長に髙橋和子議員、副委員長に佐々木孝道議員を選任しました。

委員長就任に際し、髙橋委員長は、「捜査や個人攻撃を目的とするものではなく、事の真相を明らかにし、事実と真実に基づき誠意をもって役割を果たしたい」と委員会の役割を話しました。

委員会では、当局に対し、配管図面や詳細な資料の提出を求め、次回の日程を当局と調整し開会することとしました。

県南地区議長会議員研修
おもてなしの一歩は、第1印象を大切に

岩渕事務局長の講演を熱心に聞く議員

西和賀町議会、金ヶ崎町議会、平泉町議会、住田町議会で構成される県南地区町議会議長会（会長　水野英哉住田町議会議長）の議員研修会が７月７日に平泉町役場で開催され、当町から議員11人と事務局が参加しました。

研修会では、講師に古都ひらいずみガイドの会の岩渕洋子事務局長を迎え、ガイドから見た平泉と題した講演が行われました。

岩渕事務局長は、ガイド養成講座の参加から会設立までの経緯、ガイドの中身や事務局の運営、ガイドをする上で心がけていることなどを、実際のガイド説明を交えながら講演されました。

また「第一印象を大切にを心がけている。これが、おもてなしの一歩につながる」と説明し、参加した議員らもうなづきながら聴講していました。

西和賀町議会事務局
事務局職員研修が開催されました

西和賀町沢内庁舎を会場に研修会が開催されました。

７月17日、西和賀町を会場に県南地区町議会議長会（会長　水野英哉住田町議会議長）による事務局職員研修会が行われました。

研修会は、西和賀町、平泉町、金ヶ崎町、住田町の４町議会で組織し、情報交換をしながら議会運営を円滑に行うことを目的に毎年開催しています。

研修内容は、岩手県町村議会議長会の米田武美参与から『議会運営の対応と議事手続き』と題した講演でした。米田参与からは「議会が円滑に進むか進まないかは事務局にかかっている。」と話し、参加した事務局職員は気を引き締めて聴いていました。

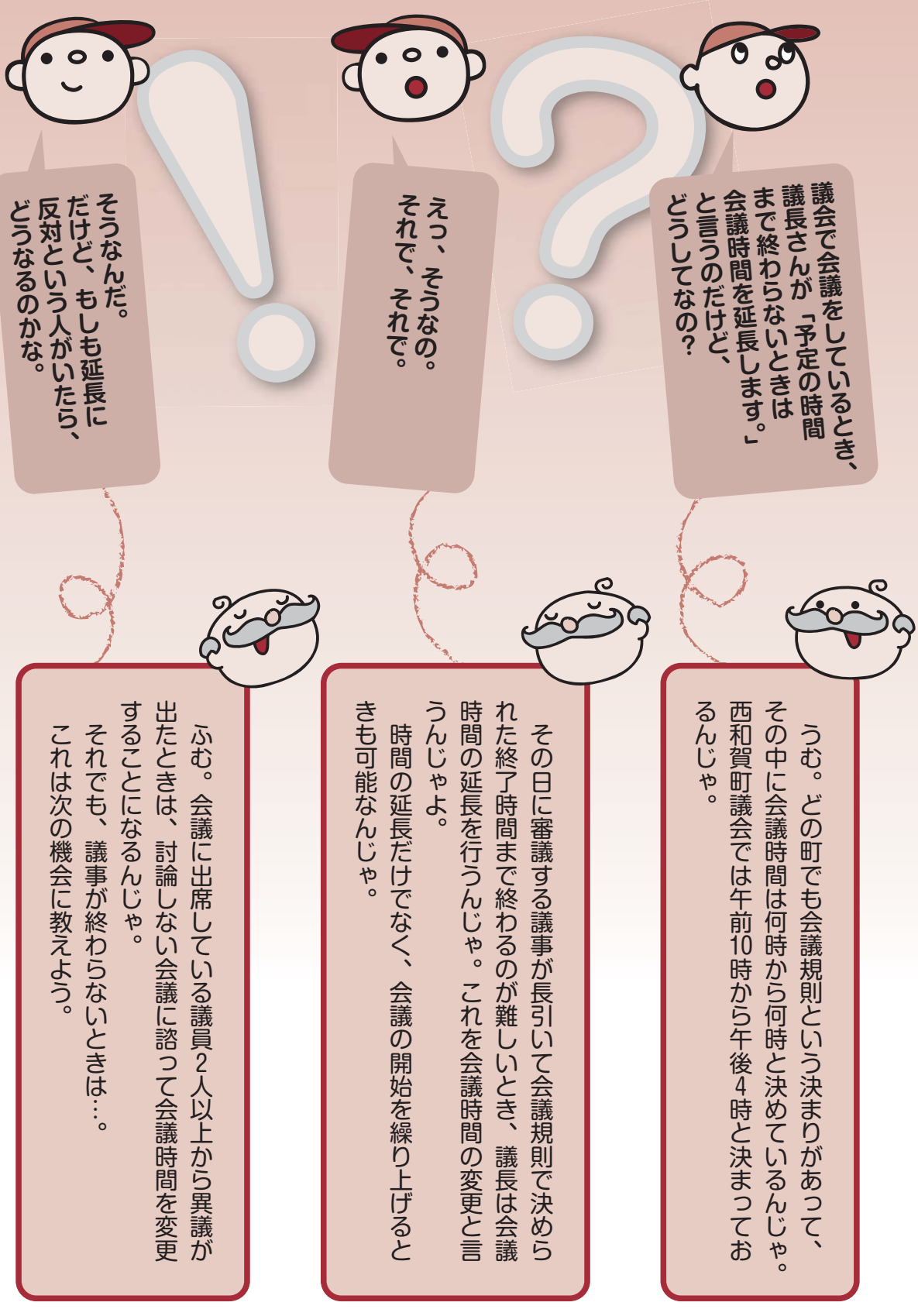
知ってるようで知らない 議会deお勉強!?⑳

今回は

会議時間の変更

についてじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。



西和賀町議会会議規則は西和賀町公式ホームページで見ることができます。ホームページを見ることができない人は西和賀町議会事務局（☎(85)3416）にお問い合わせください。

シリーズその後を追う㉗

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします。〕

あの課題はどうなった？

安全に乗り降りできます

路線バスのさわうち病院乗り入れ

経緯

西和賀さわうち病院の岩手県交通バス停留所は、計画では病院の玄関先に設置することになっていました。しかし、昨年10月に開院してから2カ月以上経過しても、その計画は実現されず、路線バスの利用者は県道沿いの停留所まで歩き、寒空の中バスが来るのを待っていました。バス停留所の場所は1キロ以上続く直線道路で、走行する自動車もスピードを出しており、特に高齢者の冬季の利用が心配されていました。

議会では

12月定例会でこの問題を取り上げ、計画の進捗状況を確認したところ、町からは、路線バスの病院乗り入れの試験は行ったが、様々な問題が重なり、事業の実現は早くても27年3月はじめになると説明しました。議会は、来院者の安全を考え、速やかな事業の実施を訴えました。

道路沿いに建てられたバス停留所

結果

その後、町や岩手県交通の相互連携により、2月1日、予定よりも早く病院前に停留所が設置され、バスの利用者も県道まで歩くことがなくなり、天候にも左右されず安心してバスを利用できるようになりました。

病院に乗り入れる路線バス。安心して乗り降りできます。（平成27年７月のようす）

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.39

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.25

さわうち太鼓百年座

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

さわうち太鼓百年座では大人と一緒に中学３年生の生徒４人が太鼓の演奏活動しています。皆、小学５年生から初めて、今年で５年目となりました。練習は、毎週水曜日と金曜日に農業者トレーニングセンターで行っており、年に10回ほどある大会や演奏活動に向けて、技や実力を磨いています。

大人の座員と一緒になって、太鼓を奏でます

大橋　誓（おおはし　うけい）さん
（沢内中３年・前郷）

私の目標は、全国太鼓フェスティバルに出場することです。
皆のリズムや呼吸にあわせて演奏することは難しいですが、太鼓の刻みに、一つ一つ魂を込める演奏を常に心がけています。

柿澤泰虎（かきさわ　たいご）さん
（沢内中３年・鍵飯）

練習で心がけていることは、全ての演奏に魂を込めて打つこととリラックスして打つことです。
中でも太鼓を細かく打つ演奏が難しいと感じます。
全国太鼓フェスティバルへの出場を目指し、一生懸命練習に励んでいます。

おなが～く「生涯現役」です (24)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

野々宿青空の会　会長
髙橋（たかはし）定信（さだのぶ）さん
（71歳・野々宿）

青空の下で活動しようと先輩たちが名づけた「青空の会」には20人の会員が加入しています。
活動では、健康で介護無しの生活が送れるよう体力測定や看護師さんの指導を受ける「いきいきサロン」や日帰りの小旅行、花見会、みんなで植菌し今秋の収穫が楽しみなナメコ栽培があります。
数年前まではゲートボールが盛んでしたが、年が経つにつれ、参加できる人が少なくなり、現在は少人数でグラウンドゴルフに通っています。
活動の中でも、毎月１回行っている「いきいきサロン」は、介護予防のために始めたものですが、欠席する人も少なく、皆楽しく参加しております。
「いきいきサロン」の内容は、近隣の福祉施設の協力を得て、血圧や体力測定を行った後、屋内グラウンドゴルフゲームで汗を流し、参加者全員商品をもらいます。その後は楽しく昼食をとりながら夕方まで会話に花を咲かせます。
「これまでの研修旅行は、須川温泉や乳頭温泉鶴の湯だった。今年は猊鼻渓に行こう。」など、みんなと楽しく語り合うことや体を動かし活動することが一番の認知症予防ではと思っております。

体力測定を頑張る皆さん

暫時休憩

４月の改選により、議会広報編集委員会も新メンバーでスタートしました。
いよいよ議会広報も本格的な活動に入ります。地域住民の皆様に興味を持って読まれるような紙面構成や内容の議会広報を目指していきたいと思います。また、これまでの形にとらわれない多くの挑戦をしていきたいと考えております。これまで以上に、試行錯誤を繰り返す議会広報になるかと思いますが、地域住民の皆様の意見も取り入れながら、新たな議会広報の発行を目指したいと考えておりますのでよろしくお願いします。

広報編集常任委員長　淀川　豊

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　淀川　豊
副委員長　髙橋　和子
委員　深澤　重勝
〃　佐々木孝道
〃　髙橋　到

発行日／平成27年8月5日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　淀川　豊
〒029-6902　岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416 FAX0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK